



# かけはし

鳥海山描きこる画家まなごしの

優しきはこころ満ちたるるらし

賀祥山 禅林寺 第四十世

山やま中なか律りつ雄ゆう



5月に開催の第一美術展（国立新美術館：東京六本木）に向け200号の作品を制作している湯保卓雄さん

秋田県の中でも由利地域にはプロ・アマ含め、絵描きが多いといえます。海あり山ありの恵まれた地形がその理由のようです。地元で開催される美術展に足を運んでいなければそうしたことも知らないでいました。

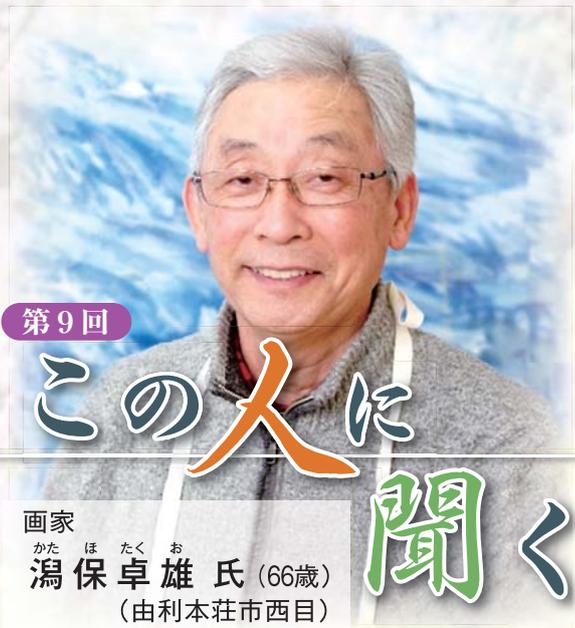
西目町湯保在住の画家・湯保卓雄さんは美術界を牽引されてきたおひとりです。『鳥海山方位360°カレンダー』は今年で5年目を迎えました。毎年、発行を心待ちにしているファンも多いと聞きます。

小さいころから絵が得意だったのかと思いきや由利工業高校に在学中は船作りに夢中だったとか。

「最初はカヌーからはじまりましたが、モーターボートが欲しかったので手作りしました。耐水ベニアを加工し船外機を取り付けて。もちろん小型船舶の免許を持っています」

絵を描くようになったのは「TDKに就職し、千葉県市川市にある開発研究所に配属された際、職場も寮も同じ友人が絵描きだったことがきっかけでした」

（次ページへつづく）



第9回

# この人に聞く

画家  
かた ほ たく お  
瀧保卓雄氏 (66歳)  
(由利本荘市西目)

——「鳥海山方位360°カレンダー」を制作した  
きっかけを教えてください。

鳥海山は海岸からわずか16kmで2千m級の山。こんなに恵まれた場所はありません。私はおらほから見る鳥海山が一番だと思っていました。庄内に行くと「おらほが一番だ」といいます。県南でも同じことを言います。形は違っても畏敬の念とも強く愛されている山なのです。また、四季を通して生活に深く結びついている山でもあります。鳥海山をぐるーつと回って、全方位から鳥海山の絵を描いてみたいと思います。鳥海山を中心に10度刻みの線を引き、5年間で全方位からのカレンダーを制作しようと思ったのが平成25年のことでした。

## 鳥海山方位360°スケッチポイントマップ

● 2018年スケッチポイント ● 2016年スケッチポイント ● 2014年スケッチポイント  
● 2017年スケッチポイント ● 2015年スケッチポイント



このカレンダーには故郷を離れた方のファンも多くいらっしゃいます。人それぞれ、心の原風景として鳥海山があるのでしょ。鳥海山が見える日は、ほぼ毎日スケッチしています。850枚になりました。鳥海山を描いていて気になることは風車の乱立です。秀麗無比なる鳥海山に人工物の入り込むことが残念でなりません。

「秀麗無比なる鳥海山に人工物の入り込むことが

残念でなりません」



仁賀保高原から（にかほ市）

—— 絵は独学ですか。

26歳でTDK琴浦工場に戻ってから地元  
の絵画教室に通うようになりましたが、なか  
か腕は上がりませんでした。そうした時、五  
島まさ先生との出会いがその後の人生を変  
えました。先生は由利本荘市出身の画家で神  
奈川県の茅ヶ崎美術家協会の会長。月に2週  
間、絵画教室のため来県されていました。私  
は先生の作品の色合いが好きです。また、描  
きすぎないことを学びました。水彩画を始め  
るようになったのも先生の影響です。画家は  
個性を大事にしなければなりません。技法  
は学ばなければなりません。もし先生と出  
会っていなければ絵を続けていたかどうかわ  
かりませんし、「鳥海山方位360°カレンダー」  
を作ることもなかったでしょう。自分を見失  
わないために師匠をもつことは大切なこと  
です。それは人生においても同じです。師匠は  
私の身体のことまで気にかけてくださいます。  
—— 大病を患ったとお聞きしましたが体調  
はいかがでしたか。  
一昨年12月に肺がんの宣告を受けました。  
さすがにショックでした。昨年2月に肺とり  
んパの一部を切る手術を行い、点滴による抗  
がん治療を6月まで続けました。一時は髪の毛が  
抜け、食事をしていても不味くたいへんつら  
いものでした。

## 「没頭する」ことがあったおかげで

## 気持ちが吹っ切れました」

しかし、組合病院の窓から見た鳥海山がと  
ても素晴らしかったので入院中、24枚描きま  
した。絵に集中している間は痛みを忘れるこ  
とができたのです。また、没頭することがあ  
ったおかげで気持ちが吹っ切れました。「やり  
たいことはどんどんやっていこう」と。もし  
も絵をやっていなければ気が滅入ったまま  
だったことでしょう。

その後、昨年12月に再発。今度は脳に転移  
していました。しかし、脳の病変部は放射線  
治療がよく効いたようで小さくなっているよ  
うです。抗がん剤が飲む薬に代わってからは  
体調もよくなりました。最新のがん治療は遺  
伝子の変異に合う薬が開発されていて、私の  
場合、ある遺伝子が陽性という100人に3人と  
いう特異体質のため、その薬がよく効いてい  
るようです。

カレンダーを毎年楽しみにしていただけ  
ることが私の励みです。1周を終えましたので  
2周目に入りたいと思います。鳥海山の懐に  
入り、その偉大さを感じながら表現してい  
ければと思います。



### 瀧保卓雄プロフィール

1951年9月3日生  
第一美術協会評議員  
第一美術協会秋田県支部長  
児水会常任委員  
〒018-0603  
由利本荘市西目町西目字瀧保46  
電話 0184-33-3057  
ホームページ  
<http://takuart1951.com/>  
アドレス  
[taku12734626@yahoo.co.jp](mailto:taku12734626@yahoo.co.jp)

# いきいき人生

第1回

秋田県は全国一の高齢化率・人口減少率と言われますが、「老いる」ことはマイナスなことばかりではないはずです。これまで培ってきた技術や人脈、健康といった無形財産はおカネに換算できない重要な財産です。この財産をうまく使っていくことがこれからの人生を送るうえで欠かせないものになると思うからです。



パートで働く女性たち

新コーナー「いきいき人生」では仕事や趣味、社会貢献などでいきいきしているシニア世代の方々を紹介していきます。

第1回は、にかほ市釜ヶ台地区の株式会社福寿草の皆さんを紹介します。同社にはかほ市平沢に拠点を置く三共グループの一会社です。ライフサービス系事業やインフラ構築系事業を展開するグループ会社が、農業部門を持っていることが驚きでした。また、拠点が標高340m以上の豪雪地帯である釜ヶ台地区であることが意外でした。しかし、施設を見たり、話を聞いたり、元気なパートの女性達を見ると釜ヶ台地区でやるこの意味が理解できました。

取材のきっかけは、わら細工の盛んなこの地域で「猫ちぐら」を試作していると聞いたことです。「猫ちぐら」とは、ワラで作った



猫ちぐら

猫の寝床のことです。新潟県で民芸工芸品になっている「猫ちぐら」を自分たちで作ってみようという意気込みに感じました。猫好きな方はいかがでしょうか。

拠点は閉校した釜ヶ台小中学校の校舎です。事務所・作業所・漬物加工所・わら工芸所を置いてあります。校庭にはビニールハウスが並び、水稲育苗後は、トマトやナス、冬季には凍らない程度の暖房を入れ、ホウレンソウなど葉物野菜を栽培しています。また、訪問した時は雪の下キャベツの出荷準備がされていて、お土産にいただきましたが、とても甘いキャベツでした。今年は野菜の高騰により、規格外のホウレンソウなども高値で売られているそうです。



雪の下から収穫することによって甘みを増すキャベツ

社員は取締役生産営業部長の工藤俊一郎さん(59歳)と10名前後のパート社員で構成されています。地域の雇用を増やすことに重点を置き30代1名の他は50〜70代のシニア世代です。



工藤俊一郎さん

水稻は高額化する農機具の有効利用が課題ですが、標高差300mを車でわずか20分で移動できる特異な地形は作期を拡大することができ、不便と考えることも有効的なのだと思います。

野菜の販売先は、JA等を通じての市場出荷や地元スーパーです。また、事務所に設置した無人直売所が思いのほかよく売れたそうです。釜ヶ台地区は、にかほ高原の土田牧場や象潟方面へのルート、鳥海山方面へのルート上にあり、観光客の交通量も多いそうです。特にハートの形をした「トマトベリー」は味がよいとSNSの口コミで評判になったほどです。

釜ヶ台地区は鳥海山の大パノラマや冬師湿原がカメラマンに人気の場所です。これだけの観光資源も持ち合わせているわけですから、将来、観光農業も期待できるのではないのでしょうか。



外は大雪の中、わら細工を作るパートさん達

作業場を見渡すと試作段階の商品がありアイデアの抱負なことに驚きました。木工製品はグループ企業内の大工さんの知恵を借りることもできます。また、ハウスの暖房にグループ内の整備工場の廃油を使うことができないか検討しているところでありました。

「自然豊かな釜ヶ台地域の景観を生かして高齢化する地域が廃れることなく元気で活力ある産業を開発したい」という社長の思いを胸に日々挑戦。それはまるで雪を割って春一番に咲く福寿草のように笑顔で輝いていました。



玄関のプランターに咲いた福寿草

**株式会社福寿草**

にかほ市馬場字冬師山8-4

☎ 0184-44-8184

# 肖像・家族写真 無料撮影キャンペーン実施中

## お申し込み

終活カウンセラー兼

カメラマン

佐藤まで

みどりの会会員、限定30組を無料で肖像・家族写真の撮影を承ります。  
是非、この機会に写真を残しませんか。  
撮影日を調整しご自宅に伺います。先着順となりますので早めのお申し込みをお願いいたします。  
会員加入同時のお申し込みも可能です。



※終活相談されたお客様の写真です。許可を得て、掲載させていただきました。

# 湯保老人クラブで 終活セミナー開催

12月14日(木) 西目町の湯保老人クラブ様からお招き

いただき、終活セミナーを開催しました。34名の方が参加し、プロジェクターを使いながら、エンディングノートの書き方を中心に1時間ほどお話させていただきました。

「最初は自分には関係ないことだと思っていました。が、こういう用意も必要なことがわかりました。たいへんためになるお話でした」と感想をいただきました。

開催を企画していただいた齋藤会長さんをはじめ役員の皆様深く感謝いたします。



## エンディングノート 書き方セミナー 開催募集!!

セミナー開催を希望される団体の方は葬祭センターまでご連絡ください。また、個人で書いてみたい方のご相談も承ります。



センター長  
終活カウンセラー  
兼カメラマン  
**佐藤 正人**  
(☎090-4880-1097)

### エンディングノートの内容

「終活」とは単に死についての準備をするだけでなく、なぜ準備をするのか、その奥深くにあるご自身の気持ちが大切だと思います。私たちは「今」を生きています。終活とは人生の終焉を考えることを通じて自分自身をみつめ、今をよりよく自分らしく生きる活動のことを言います。

- ① 私について  
人生の棚おろし
  - ② 身体について  
健康状態や介護・病気の告知・延命治療
  - ③ 財産について  
財産・保険・遺言
  - ④ 葬儀やお墓について  
自分のお葬式やお墓
  - ⑤ 大切なあなたへ  
大切な人へ・家族との思い出
  - ⑥ マイ・ウェイ  
これからの人生でやりたいこと・会いたい人
- (一般社団法人終活カウンセラー協会  
「マイ・ウェイ」より抜粋)

# お客様の声

お客様に対し、一生懸命に尽くそうとする態度が感じられ、たいへんありがたく思いました。これからもその心がずっと続きますようにと思います。ありがとうございました。

〈A様〉

希望を取り入れていただきありがとうございます。たいへんお世話になりました。たいへんお礼申し上げます。

〈W様〉

たいへん助かりました。いろいろとわからないことも気軽に相談でき、ありがとうございました。

〈M様〉



こちらの手違いで通夜の後の席が足りなくなってしまうのに、すぐ対応してくださり、たいへん助かりました。何もかも初めての出来事でしたので、ご迷惑をおかけしましたが「立派な葬儀だった」「感動した」と言ってくださった方が多数でした。ありがとうございました。

〈K様〉

## 編集 後記



知人がすい臓がんで亡くなりました。いつも明るく行動的な方でした。ご主人はいいました。「妻は12月のサークルや団体に所属していました。私からすれば『もう勘弁してくれ』という思いでしたが、様々なことに興味を持ち『できるか、できないかじゃない。まず、やってみること』が彼女の口癖。友の幸せを願う行動することが彼女の人生でした。71歳という年齢は今の時代では若い。しかし、普通の人の何十倍も濃い人生を送ったと思います」と。

お別れは悲しいですが、自分の身を通して「人生とはいかに生きるか」を教えてくださいたいと思います。

取材でお会いした渦保さん、工藤さんもまた、逆境に合いながらも勇気をもって前向きな生き方をされています。兎角、できないことを環境のせいにしてしまいがちです。しかし、良いも悪いも自分の心次第。「踏み出してみたら大したことなかった」ということと往々にしてあるように思います。

## JA葬祭みどりの会 会員募集中

入会金 10,000円  
『終身会員』となり、ご家族（同居）どなた様でも特典をご利用いただけます。

### 事前相談 承ります

葬儀についての不安を解消いたします。お気軽にご相談ください。

## 短歌会員 募集中

(かけはし短歌会)

現在、会員9名。ほとんどの方が初心者から入会です。最高の指導者のもと、和気あいあいの勉強会です。興味のある方、ご連絡お待ちしております。



**(株)ジェイエイゆり葬祭センター**  
本店 / 〒015-0852 由利本荘市一番堰200-1  
**0120-2468-08**  
☎ 27-1718 FAX 27-1715  
メールアドレス: jayurisousai@clock.ocn.ne.jp

**JA葬祭 虹のホールゆり**  
由利本荘市川口字八幡前41-1  
☎ 23-7716 FAX 23-7717

**JA葬祭 虹のホールしらゆき**  
にかほ市三森字三嶽森41-1  
☎ 62-8171 FAX 62-8172

**年中無休・24時間受付**